

代表者のことば



川上 和久

明治学院大学教授。昭和32年東京生まれ。東京大学文学部社会心理学科卒。専攻は政治心理学、戦略コミュニケーション論。

郷土に貢献し、世界で活躍できる人材を育てたい

今年の夏は戦後70年の節目の年であり、また4年ぶりの教科書改訂の年でもあります。育鵬社の『新しいみんなの公民』は、前回ご好評をいただきましたが、今回、全面的なバージョンアップを行い、以前にもまして「学校の先生が教えやすく」「生徒の学ぶ意欲が高まる」教科書となりました。

中学生は多感な年ごろであり、自分は何のために生きているのか、自分の将来像は何かと、さまざまに模索している時期です。その時にあって、生徒が自らを見つめ直すことができる視点、つまり「自分の立ち位置」を確認できる教材を掲載しました。また、大局観を養い、その上でディテール(細部)を把握できる教材を掲載しました。こうした様々な工夫により、生徒は大きな興味・関心・意欲を持って各単元の学習に入れます。

振り返ってみますと、戦後70年には教育の世界にも不毛なイデオロギーが持ち込まれた時期がありました。こうした一面的な物の見方を排し、生徒が真に学ぶ意欲を高め、多面的・多角的思考ができる人材となり、自らの故郷に貢献し、ひいては世界で活躍できるようにすることを願い編集しました。

育鵬社教科書のコンセプト

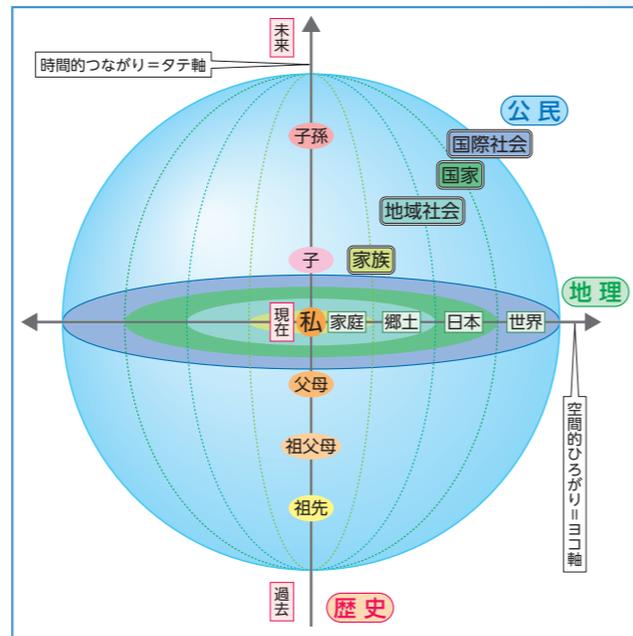
グローバルな視点から日本と現代社会を語れる教科書

グローバル化が進展し世界が急速に変化する中、日本も少子高齢化による生産年齢人口の減少や、経済の立て直し、エネルギー政策、領土問題や安全保障など、さまざまな課題を抱えています。

将来を担う子どもたちは、こうした課題を乗り越え、グローバル化する社会の中で言語や文化が異なる人々と主体的に協働していく必要があります。そのためには、伝統や文化を継承し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力が求められます。

育鵬社の教科書は、日本の歴史と文化を語れる真のグローバル人材を育成するための教科書です。生徒一人ひとりが、日本の歴史に連なる存在であることに気づき、広い視野に立って家族・地域社会・国家・国際社会と自分との関係を学ぶことにより、自分の立ち位置を自覚できる構成・内容になっています。

それにより、日本の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、日本の伝統文化と他文化への理解を育み、国家及び社会の責任ある形成者として必要な公民的資質の基礎を養います。



基礎的・基本的な知識や技能を しっかり身に付ける

特色1 “公民の学習の流れが見える”教科書 基礎的な知識・技能を習得するとともに、社会的事象を自分事としてとらえられる内容構成で、公民としての基礎的教養を育みます。

特色2 「つかむ、調べる、まとめる」問題解決型学習の教材配列 「つかむ→調べる→まとめる→表現する」問題解決型学習の教材配列で、知識・思考・判断・表現の一体化を図りました。

編集の基本方針 「他人事」でなく「自分事」として現代社会をとらえられる！

変化の激しい現代社会を生きる生徒が、持続可能な社会の形成者として積極的に社会に参画できる資質能力を育てたい、との願いから、『新編 新しいみんなの公民』は編集されました。

本書は、現代の日本の特色である少子高齢化、多文化共生、グローバル化、情報化、伝統文化の継承などの課題について、生徒が生活目線で考え、判断し、考えを深められるように内容を構成しました。

学習にあたっては、地理的分野や歴史的分野の学習を生かしつつ、習得した知識や技能、概念などを活用して、考えをまとめたり深めたりする言語活動を重視しました。さらに、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーニングの視点も取り入れ、社会的事象を自分事としてとらえ、主体的に判断し行動できる生徒の育成を目指しました。

現代社会の見方や考え方を身に付け、 思考力・判断力・表現力を育む

特色3 段階的に多様な言語活動に取り組める章構成 各章ごとに、学習の段階に応じた多様な言語活動を掲載しています。

特色4 多面的・多角的に考察する力を養う教材 公民の学習内容と自分の人生や社会とのつながりを感じられるような教材を充実させました。「現代社会の見方や考え方の基礎」を習得し、物事を多面的・多角的に考察する力を養います。

課題に主体的に向き合い、 社会に参画する意欲と態度を養う

特色5 現代社会の課題に主体的に向き合う多様な教材 自分と社会との接点を自覚できるように多様な教材を充実させました。自立した人間として人々と主体的に協働する意欲と態度を養います。

特色6 社会に参画する意欲と態度を育てる学習の充実 主体的に社会に参画する意欲と態度、自立して社会生活を営むために必要な力を、実践的に身に付けられる学習を充実させました。

生徒が基礎的な知識・技能を習得できるように教材を充実させました。また、社会的事象を自分事としてとらえられる教材を各章にバランスよく配置し、全体を構成しました。生徒の学習意欲を高め、持続可能な社会を実現するための公民としての基礎的教養を育みます。

ポイント

“公民の学習の流れが見える” 教科書

特色

1

本書の基本構成

私たちが取り巻く課題

14462.41 +307.29

なぜ「公民」を学ぶのか？

なぜ「公民」を学ぶのか？

自分と社会との関わりを認識し、公民を学習する意欲を高めます。

人生モノサシ

公民の学習内容と自分自身の人生とのかわりに目を向けられるよう工夫しています。

第1章 私たちの生活と現代社会

現代社会を見てみましょう！

現代社会をどう見るの？

現代社会をとらえる見方や考え方

「現代社会をとらえる見方や考え方」の基礎として、「対立と合意、効率と公正」について学習します。

発見！ 現代社会の特色

現代社会はどのように見えるの？

第2章 私たちの生活と政治
日本国憲法の基本原則

第3章 私たちの生活と政治
民主政治と政治参加

第4章 私たちの生活と経済

第5章 私たちと国際社会の課題

法の入り口

政治の入り口

経済の入り口

国際社会の入り口

問題意識をもって意欲的に毎時間の学習に取り組めるように、各章の導入には、その章で学ぶことを自分事として考えるための「学習の入り口」を設けました。

民主主義って何だろう？

1時間 = 見開き2ページで、学習のねらいに沿って、基礎と基本の定着をはかります。

豊かな暮らしとは何でしょう？

世界平和のために何ができるかな？

学習のまとめ

各章末に設け、重要語句や基本的知識の定着と、言語活動を行うための課題を掲載して、思考力・判断力・表現力を伸ばします。

本文ページ

持続可能な社会

1967年 日本が地球環境条約を締結

1971年 日本が地球環境条約を批准

1972年 国連人間開発報告書

1973年 フォントン集約評議

1980年 オゾン層破壊防止条約

1984年 国連環境開発会議（地球サミット）開催

1987年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

1992年 地球サミット開催

1993年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

1994年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

1997年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2000年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2001年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2002年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2003年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2004年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2005年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2006年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2007年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2008年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2009年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2010年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2011年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2012年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2013年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2014年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2015年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2016年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2017年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2018年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2019年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2020年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2021年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

2022年 持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる「21世紀の発展」に関する世界開発目標（WID）の採択

社会科のまとめ

私は内閣総理大臣

「持続可能な社会」を築いていくための国づくり構想を立てよう

生徒が社会科の学習を通して学んできたことを生かして、持続可能な社会を築いていくためのレポートをまとめます。

生徒の学習に対する興味・関心を高め、内容の理解へと導く過程を紙面に構成しました。「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料をバランスよく配置。1時間で資料を効果的に使い問題解決できるような課題設定と、資料や調査学習を通して「考え」「判断した」ことを自分なりの表現方法でまとめるテーマ設定で、知識・思考・判断・表現の一体化を図りました。

p.46 「法と私たちの生活」

p.112 「私たちと地方自治」

など

本文見開きの構成

本文は1授業時間に適した教材の分量を厳選し、1つのテーマについての学習内容を「1授業時間＝見開き2ページ」にまとめました。

①生徒の興味・関心を高める導入資料

見開きの冒頭には複数の資料を掲載し、生徒が興味・関心を持って学習できるようにしました。

②生徒に課題認識をさせるフキダシ

導入資料を読み取る視点を提示しています。課題を主体的にとらえ、生徒の学習をサポートします。

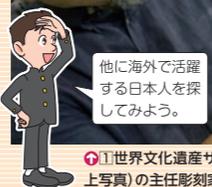
③学習のねらいがわかる【学習課題】

見開きで「何を学ぶのか」を明確に示して、生徒が見通しを持ちながら学習を進めることができます。

④生徒が理解しやすい本文

本文は現行本よりも、さらに平易な言葉で制度やしくみ、社会的事象の内容や事象間のつながりなどを丁寧に説明しました。生徒が学習内容を理解しやすいように工夫しています。

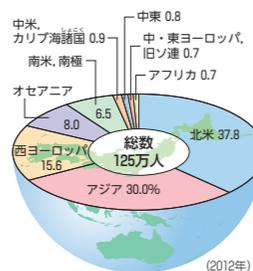
第1節 私から見える現代の日本社会



他に海外で活躍する日本人を探してみよう。
①世界文化遺産サグラダ・ファミリア（現在も建築中、右 上写真）の主任彫刻家、外尾悦郎さん（スペイン・バルセロナ） 吉弘さん（右）（京都府京都市）

1 世界とかかわる私

日本に生きる私たちは、どのように世界との関係を築いていけばよいのでしょうか。



④食料自給率
食べ物が自分の国でどれだけ作られているかを表す数字。国内の食料生産量を国内の食料消費量で割り、100を掛けた値(%)です。

進む グローバル化 私たちは日本にいながらにして、世界中の料理を食べることができます。外国のブランド品を身につけ、海外のニュースを瞬時に知ることができます。

現代の世界は、交通の発達と世界中に張りめぐらされたインターネットなど情報通信技術の進歩によって、ヒト・モノ・カネ・情報などが、国境にとらわれないことなく活発に行き交っています。世界の国々は、政治的、経済的、文化的、そして環境的にも緊密に結びつくグローバル化の時代をむかえました。

経済の面では、グローバル化が進むことによって、どの国も貿易を活発に行い、自国で調達できないものや足りないもの、効率よく生産できないものなどを補っています。

日本のように、精密な機械製品や電気製品を生産することにすぐれた国があれば、石油などの天然資源が豊富で、世界に大量供給できる国もあります。各国がより得意な分野の商品を輸出し、他国からそうでない商品を購入することを国際分業といえます。

グローバル化によって国際分業の幅が広がり、各国間での自由な貿易(自由貿易)が行われ、経済面での国際競争がますます活発になりました。

グローバル化の課題 一方で、外国とさまざまな貿易問題が生じることもあり、国民の経済と生活をどのように守るか

「授業が見える」ページ構成だから、学びやすく授業もしやすいね!



一緒に学ぶキャラクター達

理解を深めよう

よき国際人であるためには、よき日本人であれ
私は母校の聖心という学校で、「日本人」というものを徹底して教えられました。講堂で、お辞儀の仕方をよく練習させられたものです。大学生のとき、アメリカに留学していた先生がすっかりアメリカ風になって帰国されて、その先生とドアの前で一緒にあったんですね。先生が「どうぞ」っておっしゃるの。レディーファーストですね。私たちは男性優先と習っていますから、「いえいえ、どうぞ」と言ったんだけど、「いえいえ、どうぞ」と譲らないの。私は気が短いものだから、「では」と言って先に廊下に出ちゃった。そうしたらイギリス人のお年寄りのシスターが見ていたらしく、すごく叱られた。彼女が言ったのは「To be international, be national.」ということでした。つまり、よい国際人になろうと思ったら、まずその国の人として立派になりなさいと教えられたんです。人は一つの国家にきっちりと帰属しないと、「人間」にもならないし、他国を理解することもできないんです。「地球市民」なんていうものは現実的にあり得ない。むしろそれぞれの違いを承認して、相手が困ったときに手助けをするとか、違いを超えて相手を受け入れられる人がインターナショナルということだと思います。(曾野綾子著「夫婦口論」から抜粋)

ということが、重要な課題となっています。

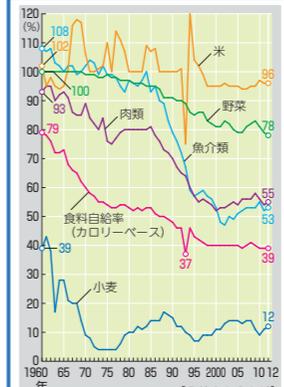
日本のように食料自給率が低く、食料を輸入に依存する度合いが高い国では、食料を輸出している国が不作になれば、たちまちに食料が手に入りにくくなります。食料を安定して供給するために、自給力を強めるなどの対策が求められます。

経済面では、企業が海外へ進出したり、多国籍企業の活動が活発になっているため、一国の政府での管理が困難になっています。一つの国が経済危機におちいると、世界的な不況を引き起こすこともあります。また、競争力を高め、ますます豊かになっている国がある一方で、貧困から抜け出せない国や競争力を失い豊かさにかげりの出た国もあります。

グローバル人材の育成 真に望ましいグローバル化とは、国家間の違いがもつ各国の国民が、お互いに認め合い、協力し合うこと。この「国際化」といえるでしょう。図版資料には見開きごとに通し番号をつけ、先生が示しやすく、生徒も確認しやすいように配慮しました。

各国の国民は、それぞれの国の歴史や伝統や文化を踏まえ、アイデンティティー(自分は何者であるかという意識)を確認しつつ、他国との良好な関係を築いてゆく必要があります。そのような資質をもった存在こそグローバル人材といえます。

グローバル化によって、私たちの生活に見られる変化を話し合ってみよう。



⑤日本の食料自給率の推移

トヨタ自動車やソニーなど、複数の国家にまたがって工場や研究機関などをもち、世界的に活動している企業のこと

⑤学習内容を深めるコラム

学習内容の理解をより深める「理解を深めよう」、多面的・多角的に考える視点を提示する「考えよう」、言語活動や調査などを促す「やってみよう」といったコラムを随所に設けて、学習に具体性や発展性をもたせるようにしました。

⑥本文の理解を助ける図版資料

写真や表・グラフ・図・コラムなどを豊富に掲載し、本文内容を補足し、理解を助けるよう配慮しました。

⑦学習内容を確認する【学習のまとめ】

学習課題に対応し、授業のまとめや自宅学習等で、見開きで学習した内容について理解できているか確認したり、レポートや論述形式でまとめたり解釈したりするなど、多様な言語活動に取り組みます。

学習の確実な定着

判型をAB判にし、幅を見開きで約6cm広げました。図版や写真を大きく見せて、豊富に掲載できます。教科書の幅が広がったから、学習の幅も広がるね!



段階的に多様な言語活動に 取り組める章構成

各章の[扉] → [学習の入り口] → [鉛筆マーク] → [やってみよう] [考えよう] → 章末の[学習のまとめ]と、学習の段階に応じた多様な言語活動を掲載しました。習得した知識・技能を活用して考えたり、判断したり、表現したりする力を育みます。

アクティブ・ラーニングの例
p.65 「法の下での平等」
p.95 「ディベートをやってみよう！」
p.107 「裁判を傍聴しよう」
など

STEP 1 学習内容を象徴する資料を紹介した章扉

各章の扉には、その章の学習内容を象徴する資料を取り上げました。広い視野から各章の学習内容をとらえ、興味・関心を促すことにより、学習への意欲を高めます。

第1章 私たちの生活と現代社会

2つの資料を比較して考えてみましょう。

私たちの町を探検して、現代社会の特色を探してみましょう。

現代社会はどのように見えるかな？

p.9

STEP 2 各章の学習の視点を培う入り口

各章の導入に、その章の学習内容の趣旨を大きくとらえさせる[学習の入り口]を設けました。言語活動に取り組むことにより、各章の学習内容への興味・関心を促すとともに、広い視野から社会をとらえる力を養い、学習への意欲を高めます。

第1章 発見！現代社会の特色

発見！現代社会の特色

私たちが町を探検して、現代社会の特色を探してみましょう。

現代社会はどのように見えるかな？

p.10~11

第3章 政治の入り口

救急車の利用について市議会で議論しよう

市民の救急車の利用について、市議会議員になって議論する活動を通して、政治のしくみや考え方について興味・関心を養います。

p.84~85

第4章 経済の入り口

A国とB国のどちらの国民になりたいか考えよう

経済活動や国民の生活のあり方の異なる2つの国を比べる活動を通して、人々にとってよりよい経済のしくみについて問題意識を養います。

p.122~123

第5章 国際社会の入り口

A国の外交官となってB国と交渉してみよう

他国との外交課題についてランキングする活動を通して、国家や国際社会の課題について興味・関心を養います。

p.172~173

STEP 3 思考力・判断力・表現力を育む 毎時間の言語活動(鉛筆マーク)

本文見開きページでは、各時間の終わりに、見開きごとの[学習のまとめ](右ページ下の鉛筆マーク)を設けました。

1時間の学習内容を自分の言葉でまとめるだけでなく、問い方にバリエーションを持たせ、社会的事象の意味、意義を解釈したり、事象間の関連を説明させるような言語活動に取り組めます。それにより、授業の最後や自宅学習などで無理なく生徒の基礎的な言語力を身に付けられます。

- 情報社会により便利になった点と課題について、調べてみましょう。 p.15
- 裁判所は、社会の中でどのような役割を果たしているのか、「法」[社会の秩序]という言葉を使って80字程度で説明しましょう。 p.107

学習内容に応じたさまざまな問い方で、思考力・判断力・表現力が育まれます。

入り口の紙面構成

第2章 法の入り口

法の入り口

活動の手順を具体的にわかりやすく提示

どのように法を学ぶの？
各章の学習の目的を示しています。

p.44~45

どのようにケーキを分ける？

家族のそれぞれの立場の違いや意見に配慮してケーキの分け方を考えます。平等、公正、権利などに配慮したルールづくりなど、法に関する基本的な見方や考え方に、作業を通して気付くことができるようになっています。

図：法の構成
各章の学習内容を象徴する図版を掲載しています。

法を学習するにあたって
各章の学習の指針を示しています。

p.44~45

STEP 4 各章で学んだ学習内容の定着を確認できる学習のまとめ

各章末に設け、重要語句や基本的知識の定着と、言語活動を行うための課題を掲載して、思考力・判断力・表現力を伸ばします。

「対立と合意、効率と公正」に関する出題もあるよ。多面的・多角的に考えよう。

p.170

4 多面的・多角的に 考察する力を養う教材

ポイント

公民的分野の学習内容と自分の人生や社会とのつながりを感じることができるような教材を充実させました。
また、基礎的な知識・技能を、実社会や実生活の中で活用できるように、「現代社会の見方や考え方の基礎」を習得し、物事を多面的・多角的に考察する力を養います。

アクティブ・ラーニングの例

- p.5 「自分の過去・現在・未来シート」
- p.94 「新聞の社説を比べてみよう」

など

伝統文化(第1章)

②お宮参り p.24

③十五三(明治神宮, 東京都渋谷区)

自分の人生を俯瞰できる! 「人生モノサシ15歳からの自分の過去・現在・未来」

自分のこれからの人生を視覚的に眺め、自分の人生と公民教科書で学習する内容との関わりについて知ることで、公民学習への興味・関心を育てるよう工夫しました。

人生モノサシ 15歳からの自分の過去・現在・未来

年齢 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80

① 学校教育の時代: 保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、大学院

② 社会人の時代: 義務教育の期間、高等学校、大学卒業後

③ 親の時代: 結婚(平均結婚年齢 男31歳 女29歳)、出産・子育て・家庭教育

④ 高齢期(平均寿命 男=79歳、女=86歳): 年金、高齢化

公民教科書との関連(一例): 少年法 p.85, 選挙権 p.90, 少年化 p.18, 裁判 p.104-111

基本的人権の尊重(第2章)

② 基本的人権の尊重 p.62

選挙権(第3章)

② 選挙権 p.90

パスポート(第5章)

② パスポート p.180

社会保障(第4章)

② 食事を提供する特別養老ホームの入居者(埼玉県熊谷市) p.164

自分の過去・現在・未来シート

自分の未来への興味関心を持つことや、夢や希望を抱くこと、目標に向かって努力する態度を身に付けられるように、具体的に考える教材を掲載しました。

自分の過去・現在・未来シート

① 自分自身の過去・現在・未来シート p.5

具体的な事例を通して学べる「対立と合意、効率と公正」

学習指導要領の「現代社会をとらえる見方や考え方」について、p.38~39では、クラスでの学芸会の事例を通して、「対立と合意、効率と公正」という現代社会の見方や考え方の基礎を着実に習得すると同時に、合意形成の重要性に気付くことができるようにしています。

現代社会をとらえる見方や考え方

③ 現代社会をとらえる見方や考え方 p.38~39

マンガで具体的な事例が示されていて、わかりやすいね。

多面的・多角的な視点を提供する教材の充実

現代の社会事象を生徒が多面的・多角的にとらえ、また、学習した知識を活用していくためにさまざまな教材を掲載しました。

新聞の社説を比べてみよう

④ 新聞の社説を比べてみよう p.94

小集団による話し合いや、ディベート、シミュレーション、体験学習などの参加型学習を掲載しています。

意見の異なる新聞の社説を題材に、ディベートに取り組みます。

考えよう

社会事象を多面的・多角的に考え、今日的課題について話し合ったり、よりよい未来を構想したりする活動を掲載しています。

思考・判断の裏付けとなる多彩な資料を紹介しています。

⑤ 東日本大震災の被災者が生活する仮設住宅に届けられたおせち料理(埼玉県熊谷市, 2012年) p.213

理解を深めよう

学習内容に対する理解を深める資料を掲載しています。

⑥ 食育に取り組み郡の料理人(京都府京都市) 小学生に「食」の魅力を教えます。 p.33

持続可能な社会を築いていくための「社会科のまとめ」の言語活動(テーマを決めてレポートを作成しよう)

中学校3年間の社会科の学習を通して得た知識や技能を用いて、社会科のまとめとして「持続可能な社会の形成」という観点から課題を探究し、レポートにまとめる単元を設けています。中間発表や議論、プレゼンテーションなどの言語活動も掲載し、社会科の学習内容を自らの生き方へと結び付け、社会に参画する態度を養っていきます。

ウェビングマップでレポートのテーマを考えよう。

④ テーマを決める p.210

テーマは具体的なものを設定しましょう。例えば、「持続可能な社会」ということをテーマに取り上げても、それに関連する内容はさまざまなものがあり、レポートを

総理大臣が取り組む「テーマ例」が整理されて、分かりやすくなったね。

⑤ テーマを決めてレポートを作成しよう p.211

社会に参画する意欲と態度を育てる学習の充実

キャリア教育を進める豊富な事例教材
働くことの意義や尊さに気づき、社会貢献や自己実現を図れるように、キャリア教育を進める教材を豊富に掲載しています。

人生モノシ 15歳からの自分の過去・現在・未来 p.4

企業を訪問してみよう p.140~141

自分のこれからの人生を視覚的に眺め、具体的に考える教材を掲載しました。自分の未来への興味関心を持つことや、夢や希望を抱くこと、目標に向かって努力する態度を身に付けます。

企業訪問などの活動を通して働くことの意義や尊さを理解し、職業観や自分の将来の姿を設計する能力を培います。

ポイント

持続可能な社会を築いていくために、国家及び社会の責任ある形成者となるための教養と行動規範や、主体的に社会に参画しようとする意欲や態度、自立して社会生活を営むために必要な力を、実践的に身に付けられる学習を充実させました。

アクティブ・ラーニングの例
p.34 「身近な祭りを調べてみよう」
p.169 「日本経済のこれから」
など

企業の社会貢献 p.140~141

企業を訪問してみよう p.140~141

企業訪問などの活動を通して働くことの意義や尊さを理解し、職業観や自分の将来の姿を設計する能力を培います。

自分への問い p.5

人は何のために働くのか p.144

自分のこれからの人生を視覚的に眺め、具体的に考える教材を掲載しました。自分の未来への興味関心を持つことや、夢や希望を抱くこと、目標に向かって努力する態度を身に付けます。

自分への問い p.5

人は何のために働くのか p.144

自分のこれからの人生を視覚的に眺め、具体的に考える教材を掲載しました。自分の未来への興味関心を持つことや、夢や希望を抱くこと、目標に向かって努力する態度を身に付けます。

私と家族 p.116

5 洗濯をする母親を手伝う小学生(岩手県大船渡市、2011年)
災害被災し、家が全壊したため、井戸水をくみ上げて洗濯を行いました。

私と地域社会 p.116

11 市議会議場で自分の市のPRについて話し合う中学生(静岡県浜松市)

社会参画を促す記述の充実

自分と周囲との関係に興味・関心を持ち、家族、地域社会、国家、国際社会の中の自分として、集団の中でどのような役割を担えるのかを考えさせる教材を充実させました。

私と国家 p.90

1 投票所のように

私と国際社会 p.116

11 JICA(国際協力機構)として、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、発展途上国への国際協力を行っている。(台風被害を受けたフィリピン・レイテ島で診察をするJICAの医療チーム、2013年)

新聞活用教育(NIE)を促すために、新聞記事を多数掲載

新聞を活用した授業を促すために、新聞記事を多数掲載しています。自分が生きている社会を教材にすることで、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、様々な資料を適切に収集、選択して、合理的な判断ができる力(メディアリテラシー)を養います。

東日本大震災—国民の絆、世界の絆 p.194~195

2000人近くを失った

自分も犠牲に住民守った公務員 p.113

自助、共助、公助に関する資料を紹介し、自分自身が社会の中で何ができるのかを考え、進んで安全で安心な社会づくりに参画し、貢献する態度を培います。

防災教育に関する多様な教材の配置

未曾有の大災害となった東日本大震災など、日本の気候・地形の特色から考えられる自然災害に関する教材を中心に配置しました。防災教育の視点から、様々な現実的課題と関わりながら、被災地の復興と安全で安心な地域づくりと、日本の未来を考えていこうとする態度を養います。

津波の教 p.19

6 「津波の教」と刻まれた石碑(宮城県気仙沼市、2012年) 「子どもたちに津波の教訓をしっかり学んでほしい」という地元住民の希望で小学校の敷地に設置されました。石碑は愛媛県今治市の石材業者が無償で加工しました。

持続可能な社会をめざして p.204~205

4 持続可能な社会をめざして

持続可能な社会を実現するために、私たちは何をすべきでしょうか。

美しい人々の自立のための銀行 p.204~205

美しい人々の自立のための銀行

美しい人々の自立のための銀行

持続可能な社会をつくるための豊富な教材

日本と世界の環境問題などについて、歴史的な事例や海外との比較を通して考えることができる教材を豊富に紹介しています。生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるように工夫しました。

里地里山を守る p.199

里地里山を守る

里地里山とは、集落とそれをとりまく雑木林や農地、ため池、草原などで構成される地域のことをいいます。農林業にともなうさまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成、維持されてきた里地里山には、多くの生き物が生息し、面積は国土の約4割を占めます。しかし、近年は生活習慣の変化や、さらに農村では過疎化のために手入れがなされず、里地里山の質の低下や消失が目立っています。そこで、環境省は2004(平成16)年から里地里山の保全活動を始めました。また、世界の自然共生の知恵や伝統などを収集、調査し、日本の取り組みと合わせて、地球全体での自然共生社会実現のための「SATOYA」

当社教科書の豊富な地域事例

※この他にも多くの地域事例を掲載しておりますが、紙面の都合上、一部のみの紹介となっております。

マープの説明 歴=当社の歴史教科書 公=当社の公民教科書 p.=該当ページ

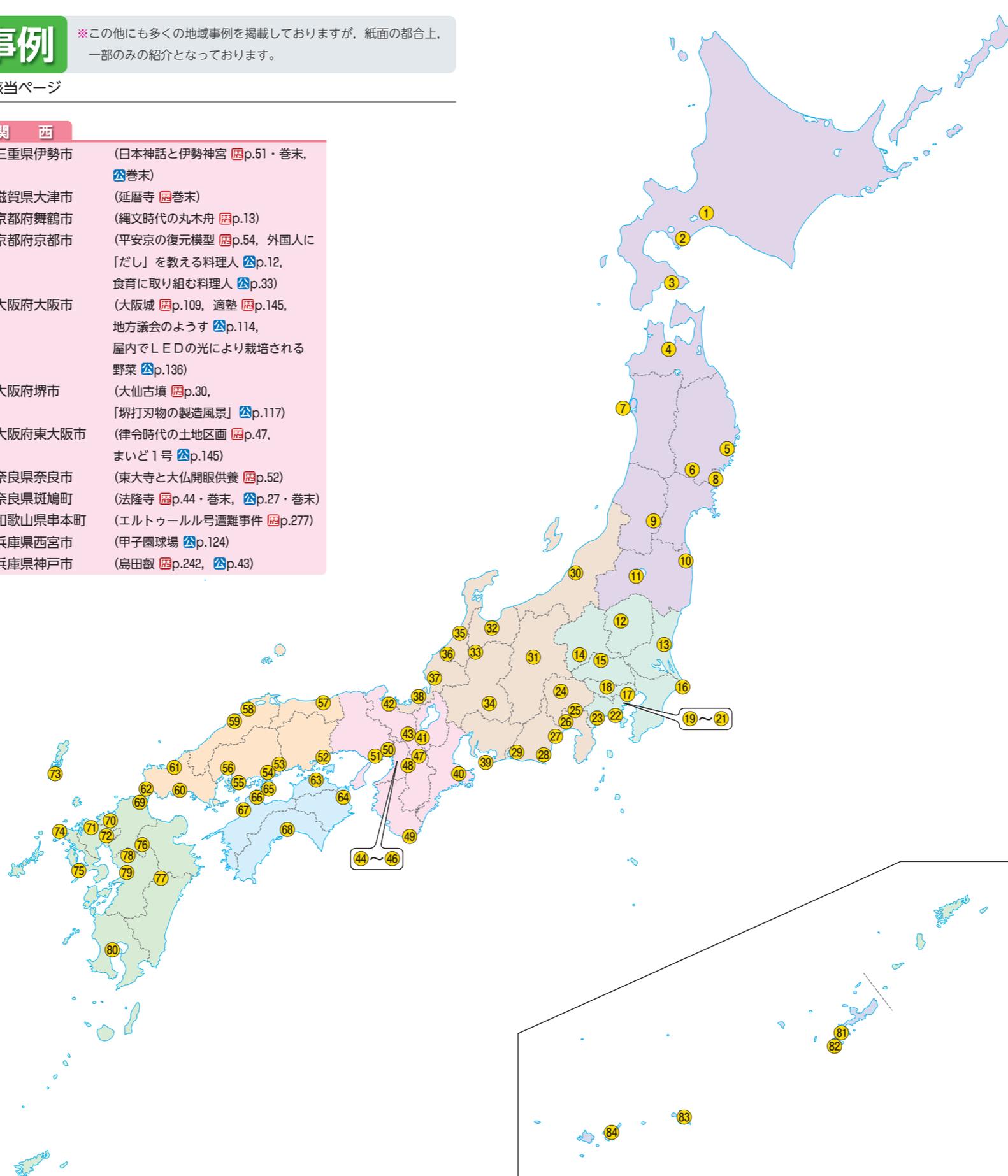
中国	
52 岡山県瀬戸内市	(邑久長島大橋 公p.71)
53 広島県福山市	(幻の町・草戸千軒 歴p.91)
54 広島県尾道市	(棕浦の法楽踊り 公p.117)
55 広島県呉市	(「里海」により海の力を回復した例 公巻末)
56 広島県広島市	(原爆ドーム 歴p.241・巻末)
57 鳥取県	(神話「因幡の白うさぎ」 歴p.50)
58 島根県出雲市	(出雲大社 歴p.51・巻末, 神在祭 公p.37)
59 島根県大田市	(世界文化遺産・石見銀山 歴p.87)
60 山口県防府市	(防府天満宮 歴p.57)
61 山口県萩市	(松下山塾 歴p.163・巻末)
62 山口県下関市	(下関講和会議 歴p.189)

四国	
63 香川県高松市	(障害者の手作りの展示即売 公p.54)
64 徳島県徳島市	(阿波踊り 公p.37)
65 愛媛県上島町	(海を渡る「友愛の水」 公p.113)
66 愛媛県今治市	(石碑「津波の教え」を無償加工 公p.19)
67 愛媛県松山市	(松山収容所とロシア人捕虜 歴p.191, 正岡子規と夏目漱石 歴p.199, 坂の上の雲ミュージアム 公p.118)
68 高知県高知市	(坂本龍馬 歴p.164)

九州	
69 福岡県北九州市	(八幡製鉄所 歴p.194)
70 福岡県福岡市	(元寇の石壁 歴p.79・巻末, 博多どんたく 公p.37)
71 佐賀県唐津市	(ヘリコプターで患者の搬送訓練 公p.19, 唐津くんち 公p.37)
72 佐賀県	(吉野ヶ里遺跡 歴p.29・巻末)
73 長崎県対馬市	(日本一高い神社密度 公p.24)
74 長崎県平戸市	(平戸オランダ商館 歴p.119)
75 長崎県長崎市	(浦上天主堂 歴p.37)
76 大分県日田市	(咸宜園 歴p.130)
77 宮崎県高千穂町	(高千穂の夜神楽 公p.37)
78 熊本県山鹿市	(保全されている歴史的まちなみ 公p.117)
79 熊本県熊本市	(西南戦争 歴p.175)
80 鹿児島県鹿児島市	(西郷と大久保がめざしたもの 歴p.177, 老人ホームの1階に開所した保育所 公口絵)

沖縄	
81 沖縄県	(多面的な沖縄戦の視点 歴p.242, 沖縄と基地 公p.59)
82 沖縄県糸満市	(島守之塔, 平和の礎 公p.43)
83 沖縄県宮古島市	(さとうきびの搾りカスなどから作られたバイオ燃料 公p.200)
84 沖縄県石垣市	(明治時代に撮られた尖閣諸島のカツオ節工場 公p.179)
八重山諸島	(戦争マラリア 歴p.239)

関西	
40 三重県伊勢市	(日本神話と伊勢神宮 歴p.51・巻末, 公巻末)
41 滋賀県大津市	(延暦寺 歴巻末)
42 京都府舞鶴市	(縄文時代の丸木舟 歴p.13)
43 京都府京都市	(平安京の復元模型 歴p.54, 外国人に「だし」を教える料理人 公p.12, 食育に取り組む料理人 公p.33)
44 大阪府大阪市	(大阪城 歴p.109, 適塾 歴p.145, 地方議会のようす 公p.114, 屋内でLEDの光により栽培される野菜 公p.136)
45 大阪府堺市	(大仙古墳 歴p.30, 「堺打刃物の製造風景」 公p.117)
46 大阪府東大阪市	(律令時代の土地区画 歴p.47, まいど1号 公p.145)
47 奈良県奈良市	(東大寺と大仏開眼供養 歴p.52)
48 奈良県斑鳩町	(法隆寺 歴p.44・巻末, 公p.27・巻末)
49 和歌山県串本町	(エルトゥールル号遭難事件 歴p.277)
50 兵庫県西宮市	(甲子園球場 公p.124)
51 兵庫県神戸市	(島田観 歴p.242, 公p.43)



北海道・東北	
1 北海道千歳市	(ジュニア・エイトサミットで討議する世界の中高中生 公p.204)
2 北海道登別市	(知里幸恵 公p.71)
3 北海道函館市	(五稜郭 歴p.166・巻末)
4 青森県青森市	(三内丸山遺跡 歴p.21・巻末, ねぶた祭 公p.37)
5 岩手県釜石市	(「釜石の奇跡」 公p.195)
6 岩手県平泉町	(中尊寺 歴p.73・巻末)
7 秋田県男鹿市	(地域おこし「なまはげ」 公p.118)
8 宮城県気仙沼市	(石碑「津波の教え」 公p.19)
9 山形県山形市	(花笠祭 公p.37)
10 福島県南相馬市	(相馬野馬追 公p.37)
11 福島県会津若松市	(日新館の教え 歴p.130, 日新館 歴p.131)

関東	
12 栃木県日光市	(日光の社寺 歴巻末)
13 茨城県水戸市	(弘道館 歴p.131, 公p.117)
14 群馬県富岡市	(富岡製糸場 歴p.178・巻末)
15 埼玉県深谷市	(渋沢栄一 歴p.197, 公p.140)
16 千葉県銚子市	(製造業「サンマの加工」 公p.127)
17 東京都大田区	(優れた技術を持つ中小企業 公巻末)
18 東京都武蔵村山市	(高齢者と保育園児の交流 公p.16)
19 神奈川県川崎市	(拉致問題の早期解決を求める署名活動 公p.92)
20 神奈川県横浜市	(日本初の近代水道 歴p.201, 待機児童ゼロ 公p.16, 東日本大震災の義援金を募る中華街の人々 公p.32, 多文化共生の例 公p.70)
21 神奈川県	(神奈川県営初のメガソーラー 公口絵)
22 神奈川県鎌倉市	(源頼朝はなぜ鎌倉を選んだか 歴p.73)
23 神奈川県小田原市	(二宮尊徳 歴p.139)

中部	
24 山梨県甲斐市	(信玄堤 歴p.90)
25 山梨県・静岡県	(「世界文化遺産・富士山と日本人」 歴p.147・巻末)
26 静岡県富士宮市	(神社の祭で神主からおはらいを受ける中学生 公p.27)
27 静岡県静岡市	(「三保の松原と富士山」 公p.27・巻末)
28 静岡県牧之原市	(中條景昭と「牧之原お茶物語」 歴p.175)
29 静岡県浜松市	(虹の架け橋教室 公p.73, 市議会会議場で市のPRについて話し合う中学生 公p.116, 浜名湖サイクリングロードと家康くん 公p.118)
30 新潟県長岡市	(新潟県立歴史博物館で縄文時代探検! 歴p.22~25)
31 長野県松本市	(松山城 歴p.115・巻末)
32 富山県富山市	(おわら風の盆 公p.37)
33 富山県・岐阜県	(白川郷と五箇山の合掌造り集落 歴巻末)
34 岐阜県八百津町	(杉原千畝 歴p.233)
35 石川県金沢市	(八田與一 歴p.193, 主計町の茶屋街 公p.116)
36 石川県加賀市	(地域の生徒による里山の保全活動 公p.199)
37 福井県越前市	(里地里山で人と生きものの共生をめざす 公巻末)
38 福井県	(水月湖の年編 歴p.39, 橋本左内 歴p.162)
39 愛知県田原市	(障害者にミサンガの作り方を教える生徒 公p.68)

検討の観点からみた内容の特色

検討の観点	本書の特色	
内容の選択・程度	<p>教育基本法が定める教育の目標や学習指導要領の社会科の目標を達成するために、適切な内容が取り上げられているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育基本法が定める教育の目標を達成するため、生徒が、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培い、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを主眼として教科書づくりを行った。 ◆国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、歴史的分野で学習した過去から現在、そして未来へと続く「時間軸」と、家族・地域・国家・国際社会と広がる「空間軸」の交点にいる「私」を明示し、生徒が自らの立ち位置を自覚できるように配慮されている。→p. 2～3 ◆公民としての基礎的教養を培うために厳選された教材・資料を通して、世の中の変化や現代の課題を多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。 ◆現代社会の課題に対して、生徒自らが主体的に取り組んでいく能力・態度を養うという観点から、学習方法、調査方法、問題解決のための手がかりなどが示されている。
	<p>生徒の発達段階に応じて内容の程度や範囲は配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習指導要領に沿って、生徒が無理なく、興味をもって学習できる内容になっている。また、図表類、写真には適宜、理解を深めるための解説を示す等、有効な資料活用のための工夫がなされている。 ◆教科書の本文内容を十分理解した生徒が、より広く、より深く学ぶことができるように、「理解を深めよう」「考えよう」などのコラムを設け、対応している。
	<p>生徒が理解しやすく、興味や関心を促す内容が選択されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の人生と公民教科書で学習する内容との関わりについて知ることにより、生徒が自分の将来設計との関わりの中で学習できるように工夫した。→p. 4～5 ◆各章の導入に、その章の学習内容の趣旨をとらえさせる言語活動の見開きを設け、学習内容への興味・関心を促すように工夫した。→p.10～11, 44～45, 84～85, 122～123, 172～173 ◆生徒の生活経験と結びつきの強い身近な事例が取り上げられ、興味・関心が高まるように工夫されている。特に導入部分では問題提起をして、生徒が資料などをもとに、興味・関心を高めながら課題に取り組んだり、学習を進めたりできるよう配慮されている。
構成・分量・配列	<p>単元(教材)は学習しやすいように適切に構成されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元(教材)構成は、学習指導要領の内容・区分に準拠して、学習しやすく配列されている。また、生徒の発達段階、年間配当時間等にも配慮し、さらに歴史学習、および道徳教育との関連等も図られている。
	<p>教材の分量が適切に設定されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎的・基本的事項の確実な理解のため、項目数を厳選した。また、1授業時間を見開き2ページ構成とし、授業を進めやすくしている。配当時間は合計88時間とし、柔軟に指導計画を作成できるようにした。 ◆各学校や地域の状況に応じて、「理解を深めよう」「考えよう」「やってみよう」等の学習により、柔軟な時数の運用が可能となっている。
表記・表現	<p>正確で、バランスの取れた記述内容か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆記述内容は正確を期している。生徒が多面的・多角的に考察できるようにバランスの取れた資料の選定、本文の記述を心がけた。また、平和で民主的な国家・社会の将来の担い手として必要な思考力・判断力を養うことに主眼をおいている。
	<p>生徒にとってわかりやすい記述であるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒にとってのわかりやすさに重点をおき、文字は読みやすい大きさとし、教育外漢字や固有名詞など、適宜ふりがなを振り、丁寧な記述を心がけた。難解な法律用語等には補足をつける等の配慮をしている。また、概念的な内容を学習する単元では、生徒の理解を助けるために、適宜イラスト等を用いて表現した。
	<p>資料は正確、かつ効果的か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆図版、イラスト、写真等の資料類には正確を期し、本文の記述と関連づけて的確に提示した。特に、口絵や折り込みページは、生徒が視覚的にも大いに興味をもって取り組めるよう工夫されている。また、巻末の「学習資料」には、憲法・法律・条約を掲載している。→口絵, p.20～21, 28～29, 217～245ほか
	<p>色覚に関して、生徒が識別しやすいよう配慮があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆色覚に関しては個人差があることに留意して、図版・イラスト等の色彩や形、紙面のデザインにも十分配慮した。

検討の観点	本書の特色	
学習活動	<p>生徒が主体的に学習活動を行えるように配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆アクティブ・ラーニングの視点を取り入れ、生徒が課題の発見と解決に向けて主体的、意欲的に学べる学習課題を配置している。 ◆同年代の生徒と、教師のキャラクターを登場させ、生徒たちが親しみをもちながら主体的に学習できるよう工夫されている。
	<p>現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を養う工夫がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立と合意」「効率と公正」について紹介し、家族・地域・国家・国際社会の場において具体的にどのように活用できるか提示している。→p.38～39ほか
	<p>作業的・体験的な学習が有効に取り入れられているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆各章の最後の「学習のまとめ」には、作業的学習や意見交換・話し合いのための問題提起がある。また、「やってみよう」では、生徒自らが聞き取り調査をしたり、企業訪問をするなどして、体験的学習を行えるよう配慮されている。→p.22～23, 34～37, 42, 94～95, 107, 110～111, 118～119, 120, 141, 151, 157, 170, 208 ◆持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせるように工夫されている。→p.209～215
社会的課題	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆我が国の文化の特長、宗教、生活様式などを豊富な写真資料や図表、コラムで紹介し、生徒が理解を深められるように配慮した。→p. 24～29, 32～37ほか ◆国家の主権について考え、我が国の国旗(日の丸)と国歌(君が代)を尊重する態度と、同時に他国の国旗・国歌を尊重する国際感覚も養うように配慮されている。→p.176～183ほか ◆生徒たちの郷土の伝統文化や産業への関心が高まる題材を豊富に取り入れ、地域への愛着を深め、地域活動へ参加する意欲を高めるよう工夫されている。→p. 24～29, 32～37, 116～119ほか
	<p>環境問題に関する教育について、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地球環境の重要性を認識すると同時に、自らが進んで行動することの大切さも理解するため、例として、生徒による里地里山の保全活動など、身近な事例が紹介されている。→p.138, 196～203ほか
	<p>国際理解や平和教育・グローバル化への理解に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆グローバル化が進む現代社会の特徴や、国際社会においてルールを守ることの大切さ、国際協力の必要性が、わかりやすく説かれている。→p.32～33, 168～169, 188～191ほか ◆国際社会が抱える諸問題に関する教材や、平和教育に関する教材を取り上げ、生徒が平和な国際社会の実現や国際社会の発展に寄与していくための基礎を養えるようにしている。→p.56～59, 184～193ほか ◆我が国の領土問題や北朝鮮による日本人拉致問題については、日本政府の見解を紹介し、明確に記述している。→口絵①～②, p.176～179, 182～183
	<p>人権教育・福祉教育、少子高齢社会の理解に対して、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆人権尊重への理解を深める国内外の事例を豊富に用意し、生徒が人権の大切さを理解し、基本的人権を尊重する知識と態度を養えるようにしている。→p.52～55, 62～81, 182～183ほか ◆少子高齢社会にあって、家族の役割と価値を考え、福祉・社会保障の重要性と課題をみつめ、「ともに生きる社会」について考えるための教材を豊富に用意した。→p.16～19, 22～23, 66～67, 72～73, 162～165ほか
	<p>男女共同参画社会に対して、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆男女の本質的平等に基づき、男女が互いを尊重し、助け合うことの重要性が理解できるように、具体的な資料や事例を紹介しながら説明されている。→p.64～67, 138～139, 142～143ほか
印刷・製本	<p>情報社会に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報社会の長所と短所を記述し、またその中で守っていくべきルールを生徒たちが理解し、情報社会において有意義な生活ができるよう図られている。→p.14～15ほか ◆学習に役立つウェブサイトを紹介する等、パソコンを活用した学習への配慮がなされている。→p.119, 216ほか
	<p>消費者教育に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆消費者主権の立場から、消費者の権利と保護についての考えが記述され、生徒たち自身も消費者として正しい知識と注意を払うことが自覚できるよう図られている。→p.130～131ほか
	<p>この教科書は生徒にとって見やすく、耐久性のあるものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆文字は適度な大きさで読みやすく、写真は鮮明なものを掲載し、図表・図解資料は明るくメリハリある色彩デザインにするなど、美しく見やすい紙面構成になるように工夫した。 ◆造本は長期の使用に耐えうる丈夫な製本にした。
<p>本自体が環境問題への配慮がなされたものであるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆紙は質の高い再生紙を使用し、環境への配慮と印刷適性を両立した。 ◆印刷には環境に配慮した植物油インキを用いた。 	

単元構成と時間配当

単元構成		配当時間	学習指導要領との対照
私たちが取り巻く課題／なぜ「公民」を学ぶのか？／人生モノサシ		2	
第1章 私たちの生活と現代社会	発見！ 現代社会の特色	1	2(1)ア
	第1節 私から見える現代の日本社会	4	2(1)ア
	第2節 現代社会の文化と私たちの生活	4	2(1)ア
	第3節 現代社会をとらえる見方や考え方	2	2(1)イ
第2章 私たちの生活と政治—日本国憲法の基本原則—	法の入り口	1	2(1)イ, 2(3)ア
	第1節 日本国憲法の基本原則	8	2(3)ア, 2(4)ア
	第2節 基本的人権の尊重	7	2(1)イ, 2(3)ア
第3章 私たちの生活と政治—民主政治と政治参加—	政治の入り口	1	2(1)イ, 2(3)イ
	第1節 民主政治のしくみ	4	2(1)イ, 2(3)イ
	第2節 国民の代表機関としての国会	2	2(3)イ
	第3節 行政権をもつ内閣	2	2(3)イ
	第4節 裁判所と司法権	3	2(3)イ
	第5節 地方自治と住民	3	2(3)イ
第4章 私たちの生活と経済	経済の入り口	1	2(1)イ, 2(2)ア
	第1節 消費と経済	4	2(2)ア, 2(2)イ,
	第2節 生産と労働	5	2(2)ア
	第3節 市場経済と金融	5	2(1)ア, 2(2)ア, 3(3)ア
	第4節 私たちの生活と財政	3	2(2)イ
	第5節 私たちの生活と福祉	4	2(1)ア, 2(2)イ, 2(4)ア
第5章 私たちと国際社会の課題	国際社会の入り口	1	2(1)イ, 2(4)ア
	第1節 国家と国際社会	8	2(1)ア, 2(4)ア, 2(4)イ
	第2節 持続可能な社会をつくるために	4	2(4)ア, 2(4)イ
社会科のまとめ テーマを決めてレポートを作成しよう		4	2(4)イ

- ※公民の授業時間は100時間です。配当時間の合計は88時間で、別途予備時間として12時間設けています。
- ※配当時間には、各章の「学習のまとめ」を指導する時間(各1時間)を含めます。
- ※予備時間は、必要に応じて各章の「理解を深めよう」「やってみよう」「考えてみよう」の学習にあてる時間です。

生徒の学習を支援する 教師用指導書・準拠教材

教師用指導書に添付

デジタル教科書

新編 新しいみんなの公民

特
色

- ◆ペンやマーカー、メモ帳、目かくしなど、様々な機能が満載
- ◆教科書に載っていない写真や動画も視聴可能
- ◆デジタル学習辞典とのリンクにより、重要語句もかんたん学習

紙の教科書と同じ見開き状態の画面を表示。

本文や図版画像の拡大もボタン一つで自由自在にできます。

※ここに掲載した内容・仕様および画面は、企画開発中のものです。今後、変更となる場合があります。

教師用指導書の紹介

新編 新しいみんなの公民

教師用指導書

- ① 教科書の紙面と対比しながら、学習活動の流れや、適切な発問、指導例など、具体的な授業展開が一目でわかります。
- ② 生徒が理解しやすい板書例を提示しました。
- ③ 授業を深める研究資料を豊富に掲載しました。
- ④ 付録のCD-ROMに、授業をスムーズに行うための資料を数多く収録しました。

準拠教材の紹介

新編 新しいみんなの公民

ワークブック

- ① 教科書の本文から抜き出した文章の空欄に用語を補充することで、基礎・基本を確認できます。
- ② さまざまなタイプの基本問題にチャレンジすることで、学力の向上をはかります。
- ③ 実際の高校入試問題に挑戦。入試対策にも利用できます。
- ④ 記述式の問題で、自分の言葉で表現する力を養います。

*これらの商品の価格は未定です。

執筆者・監修者一覧

川上 和久	(明治学院大学教授)	伊藤 隆	(東京大学名誉教授)
飯島 知明	(大阪府三島郡島本町立第二中学校教諭)	石井 昌浩	(教育評論家・元国立市教育長)
磯前 秀二	(名城大学教授)	岩崎 正彌	(皇學館大学准教授)
大津寄 章三	(愛媛県伊予郡松前町立岡田中学校教諭)	故 岡崎 久彦	(元駐タイ大使)
鎌田 隆	(清風中学校講師)	小林 達雄	(國學院大學名誉教授)
小林 弘和	(玉川大学客員教授)	島田 洋一	(福井県立大学教授)
高城 淳之	(東京都立三鷹中等教育学校主幹教諭)	高橋 勝也	(東京都立桜修館中等教育学校主任教諭)
田中 英道	(東北大学名誉教授)	長尾 一紘	(中央大学名誉教授)
中山 理	(麗澤大学学長)	新田 均	(皇學館大学教授)
藤井 聡	(京都大学大学院教授)	百地 章	(日本大学教授)
八木 秀次	(麗澤大学教授)	力丸 剛	(神奈川県横浜市立潮田中学校教諭)
渡部 昇一	(上智大学名誉教授)	渡辺 利夫	(拓殖大学総長)

株式会社 育鵬社

 **株式会社 育鵬社**

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1
浜松町ビルディング
TEL 03-6368-8899
FAX 03-6368-8809
<http://www.ikuhosha.co.jp>